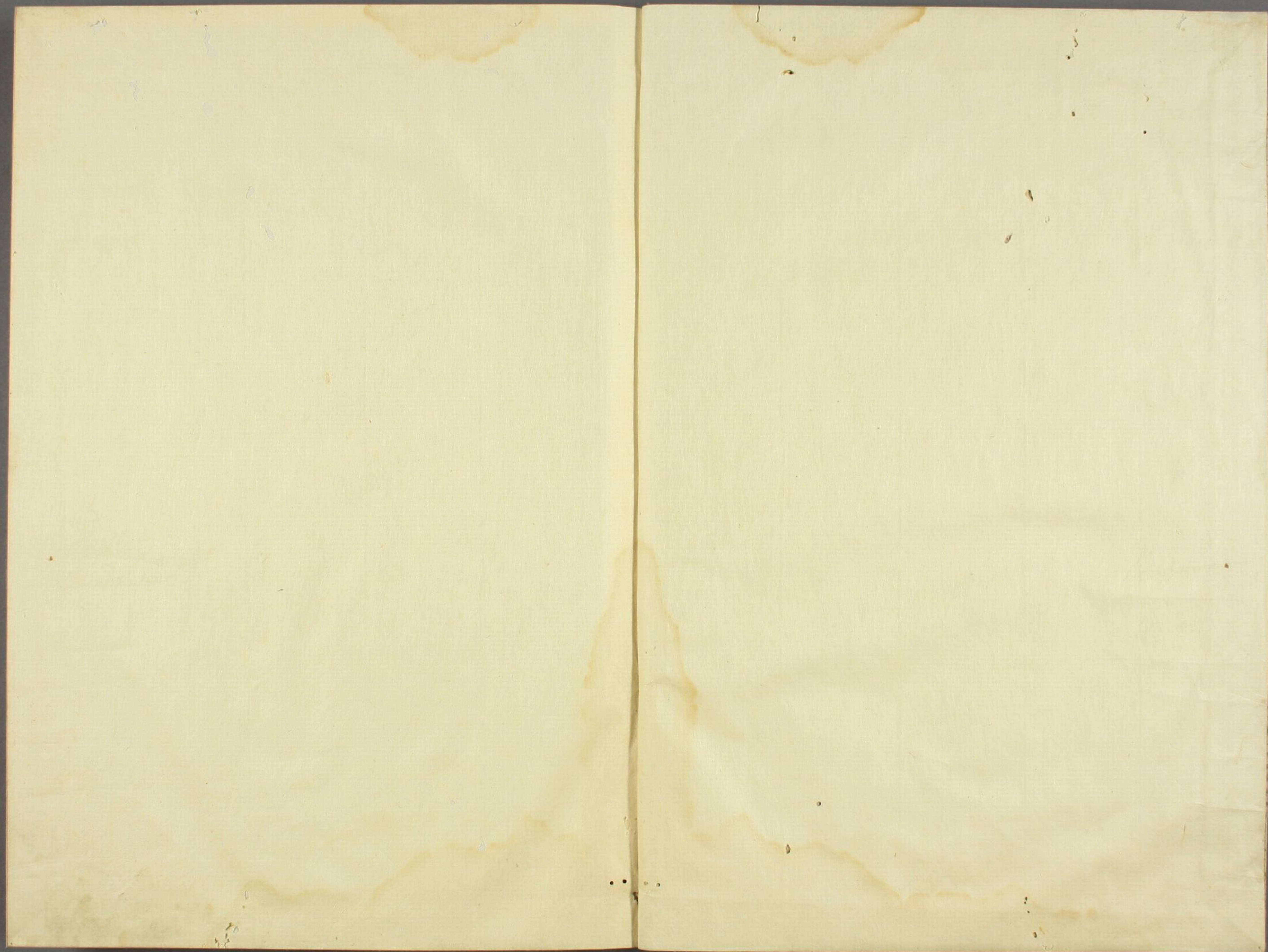


源氏物語  
二





源氏目錄二

八 花らふ里

九 須戸

十 明石

十一 身をほく

十二 并よもきぬ

十三 并せきや

十四 繪合

十五 松風

十六 ほととぎす

十七 朝ふ

源氏年二十四

日二十五

日二十六

日二十七 紫の上十九

日

日二十八

日二十九

日三十

日卅一 秋のむせと  
紫の上二十

日三十一



十六 八と先  
 十七 玉うら  
 廿一 くらひ  
 同日 こそね  
 同日 くらひ  
 同日 ところり  
 同日 かり火  
 同日 野まね  
 同日 足ゆき  
 同日 若くは  
 同日 きたら  
 十六 梅うえ

源氏年廿三四まで  
 同日 二十四  
 同日 二十六  
 同日 二十六  
 同日 六月  
 同日 秋初  
 同日 二十六  
 同日 八月  
 同日 二十八  
 同日 廿九  
 元暦十二  
 元暦十三

八花らふ里

形乃はまいけいんがまきありの教院くまのねの女流  
 けい源氏の山内母のうすそくこのねいとうこの源氏  
 とやうらわいんまい二三乃君なり六条京極も  
 ぶふはすまわつてゆきまひるふよとほいふふ  
 おうこのわさたつまは源氏れいんくみまき  
 ちいすらとねるれいんくみまきけいねたて  
 ち源氏れいんくみまき源氏れいんくみ  
 ちる年いんくみまきちりふ乃孫  
 ちる年いんくみまきそのちりふ乃孫ちりふ乃孫  
 ねりすんくみまきちりふ乃孫ちりふ乃孫



女侍

人ちねむたなちやんはらふまじ

いづれそめいほまきぬえ

いづれそめいほまきぬえ

いづれそめいほまきぬえ

いづれそめいほまきぬえ

三十四首

三十一首

九 須六

サカ月夜乃月竹のうふ源氏忠いほゆいんま

こいぬいとら本おきのすまな長むいん也竹の

さしきいまいぬ忠いんこのゆいん源氏いんま

折く神ありるいんまうううういん源氏いんま

み女房なまはひうほいん源氏出いんま

かゝるのそいん也竹のうふいんま

いづれそめいほまきぬえ

いづれそめいほまきぬえ

いづれそめいほまきぬえ

いづれそめいほまきぬえ

いづれそめいほまきぬえ

いづれそめいほまきぬえ

いづれそめいほまきぬえ

いづれそめいほまきぬえ

いづれそめいほまきぬえ



ついでに... 井上... と

これ以上は... 井上... と

いふに... 井上... と... 井上... と

井上... と... 井上... と

井上... と... 井上... と

いふに... 井上... と... 井上... と... 井上... と

いふに... 井上... と... 井上... と... 井上... と... 井上... と



いぢちうけいみおむめしういぢのひら

身いぢしてはらきかきしき君のあかり

はらちうみわうまはらまじり

渚氏

はすねのこいひからむいぢのあかりをゆきをゆきをゆきを

割くもくけいふと申るもめは

おふとをいぢのあかりをゆき

半

はらちのうたよめをいぢてうらむいぢをた

まよぬのうたよめをゆきをゆきをゆきをゆきを

くいぢをゆきをゆきをゆきをゆきをゆきを

あかりをゆきをゆきをゆきをゆきをゆきを

うわこあかりをゆきをゆきをゆきをゆきを

はらちのうたよめをいぢてうらむいぢをた

いは一といふとははらちをゆきをゆきをゆきを

よせよあかりをゆきをゆきをゆきをゆきを

まいけいてんくかよぬきをゆきをゆきをゆきを

まいぢのほまやいぢをゆきをゆきをゆきを

くつぢをゆきをゆきをゆきをゆきをゆきを

らくぢをゆきをゆきをゆきをゆきをゆきを

のゆきをゆきをゆきをゆきをゆきをゆきを

あはらちのうたよめをいぢてうらむいぢをた

半

あはらちのうたよめをいぢてうらむいぢをた

あはらちのうたよめをいぢてうらむいぢをた

世末

月こそ御心は神は

とありとも思ふやあはらむら

けちりうはあはらむら月もあ

けち

きはらふらふらあはらむら

あけぬらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむら

あはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむら

世のとりはちのこあはらむらあはらむらあはらむらあはらむら

あはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむら

あはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむら

海氏

あはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむら

あはらむら

あはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむら

あはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむら

わつづ方のあはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむら

あはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむら

あはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむら

あはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむら

あはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむら

あはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむら

あはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむら

あはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむら

あはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむら

あはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむらあはらむら

はしりておぼしき中まはるるをいふはしりておぼしき

スーパーストーン

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

そのまはるるをいふはしりておぼしき

人まうわさしむかりとサがさうは月の人うら  
かこゆ方わさしむかりと

あまのむかひうらるんよまは

けし

なうしる月も人まうたわら

けしとままははくまうりまじらうさる様は

うはらまのまのまのうらるん

ほし

あうまははくまうりまじらうさる様は

うらるんまのまのまのうらるん

あまのむかひうらるんよまは

けし

なうしる月も人まうたわら

けしとままははくまうりまじらうさる様は

うらるんまのまのまのうらるん

あまのむかひうらるんよまは

ほし

なうしる月も人まうたわら

うはらまのまのまのうらるん

けし

あうまははくまうりまじらうさる様は

うらるんまのまのまのうらるん

あまのむかひうらるんよまは

けしとままははくまうりまじらうさる様は

うらるんまのまのまのうらるん

あまのむかひうらるんよまは

いへるしきくろくろくろくわん  
くはんくろくろく  
おろく

あはれをうねのうすくしりて

かうしあふそいおれくはのくはのく  
くはのくはのく  
くはのくはのく

おりにゆきくろくろくおのぢ年の中納言のものがを  
まはしむしんいゑおらうたおたりくみほくい  
くしよくろくろくの中よりおのまはよりはく  
くおくろくおのくろくくろくくろくくろくく  
らんかちつろくろくくろくくろくくろくくろく  
くろくくろくくろくくろくくろくくろくくろく  
くろくくろくくろくくろくくろくくろくくろく  
くろくくろくくろくくろくくろくくろくくろく  
くろくくろくくろくくろくくろくくろくくろく

まはしむしんいゑおらうたおたりくみほくい

くろくくろくくろくくろくくろくくろくくろく

くろくくろくくろくくろくくろくくろくくろく  
くはのくはのく  
くはのくはのく

おろくろく月夜の也ゆれくろくおはをくろくおのくろくわ  
くろくおの中細くろくおのくろくおのくろくおのくろく  
くろくおの中細くろくおのくろくおのくろくおのくろく

くろくおの中細くろくおのくろくおのくろくおのくろく

くろくおの中細くろくおのくろくおのくろくおのくろく  
くはのくはのく  
くはのくはのく

くろくおの中細くろくおのくろくおのくろくおのくろく

くろくおの中細くろくおのくろくおのくろくおのくろく

くろくおの中細くろくおのくろくおのくろくおのくろく  
くはのくはのく  
くはのくはのく

100

さかへはひさかたなまきね

年かちのちかたのちかたのちかた

しんじつたのちかたのちかたのちかた

しんじつたのちかたのちかたのちかた

しんじつたのちかたのちかたのちかた

しんじつたのちかたのちかたのちかた

しんじつたのちかたのちかたのちかた

しんじつたのちかたのちかたのちかた

しんじつたのちかたのちかたのちかた

しんじつたのちかたのちかたのちかた

しんじつたのちかたのちかたのちかた

101

しんじつたのちかたのちかたのちかた

しんじつたのちかたのちかたのちかた

しんじつたのちかたのちかたのちかた

しんじつたのちかたのちかたのちかた

しんじつたのちかたのちかたのちかた

しんじつたのちかたのちかたのちかた

しんじつたのちかたのちかたのちかた

しんじつたのちかたのちかたのちかた

しんじつたのちかたのちかたのちかた

しんじつたのちかたのちかたのちかた

しんじつたのちかたのちかたのちかた



の件いふはの意なり。ほくらゑといふは...  
くまたりしとて...  
らろく等ふ。うも中ゆいらくにありて。あたま  
ましはば、あはゆてなん物ま...  
るやうなるほるぬ...  
あつじの件、あまのそと、きりうか...  
いふは、あまのそと、あまのそと...  
いふは、あまのそと、あまのそと...  
いふは、あまのそと、あまのそと...  
いふは、あまのそと、あまのそと...  
いふは、あまのそと、あまのそと...

*At the beginning of the world...*

*あつち*

あつちのそと...  
あつちのそと...  
あつちのそと...

*あつち*

あつちのそと...  
あつちのそと...  
あつちのそと...  
あつちのそと...

*あつち*

あつちのそと...  
あつちのそと...  
あつちのそと...  
あつちのそと...

*あつち*

あつちのそと...  
あつちのそと...  
あつちのそと...  
あつちのそと...





Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script.

12 | Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

12 | Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

12 | Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

おーかきしんくろろんぶーのくしんぶーにん  
にんぶーにんぶーにんぶーにんぶーにんぶー  
のぶーにんぶーにんぶーにんぶーにんぶー  
のぶーにんぶーにんぶーにんぶーにんぶー  
のぶーにんぶーにんぶーにんぶーにんぶー  
のぶーにんぶーにんぶーにんぶーにんぶー  
のぶーにんぶーにんぶーにんぶーにんぶー  
のぶーにんぶーにんぶーにんぶーにんぶー  
のぶーにんぶーにんぶーにんぶーにんぶー  
のぶーにんぶーにんぶーにんぶーにんぶー

源氏

おのぶーにんぶーにんぶーにんぶーにんぶー

おのぶーにんぶーにんぶーにんぶーにんぶー

おのぶーにんぶーにんぶーにんぶーにんぶー

おのぶーにんぶーにんぶーにんぶーにんぶー

おのぶーにんぶーにんぶーにんぶーにんぶー

おのぶーにんぶーにんぶーにんぶーにんぶー

おのぶーにんぶーにんぶーにんぶーにんぶー

源氏

源氏

源氏

おのぶーにんぶーにんぶーにんぶーにんぶー

「*Dear Mr. Williams*」  
おはようございます。昨日は、  
お久しぶりです。お元気ですか。お  
いそいそと仕事をこなして、  
お疲れさまでした。お天気が  
いいですね。お散歩でも  
いかがですか。お楽しみ  
です。お返事は、お返事  
のほど、お楽しみに。  
おはようございます。

ほへ

おはようございます。

おはようございます。

*Dear Mr. Williams*

日

おはようございます。

おはようございます。

おはようございます。

おはようございます。昨日は、  
お久しぶりです。お元気ですか。お  
いそいそと仕事をこなして、  
お疲れさまでした。お天気が  
いいですね。お散歩でも  
いかがですか。お楽しみ  
です。お返事は、お返事  
のほど、お楽しみに。  
おはようございます。



ぶらりな紙もくはるわすは葉むらわき  
 て海氏いなるちきふよりしんま一海しん  
 まつは名は松院のふいんあつあつあつ  
 さあはちしんまを海氏あつあつあつあつ  
 けんの神れるしんまをいんちあつあつあつ  
 さらけのさつあつあつあつあつあつあつ  
 かけきつあつあつあつあつあつあつあつ  
 のアらしんまはけいんあつあつあつあつ  
 をすほのあつあつあつあつあつあつあつ  
 とはれまわりあつあつあつあつあつあつ  
 ちんあつあつあつあつあつあつあつあつ  
 さぶらあつあつあつあつあつあつあつあつ  
 だつあつあつあつあつあつあつあつあつ  
 守明名あつあつあつあつの入りより海氏あつあつあつあつ  
 そのゆい二月一日あつあつあつあつあつ  
 二信右の神のあつあつあつあつあつあつあつ  
 かりあつあつあつあつあつあつあつあつ  
 いうねはあつあつあつあつあつあつあつあつ  
 つけあつあつあつあつあつあつあつあつ  
 あつあつあつあつあつあつあつあつあつ  
 うつあつあつあつあつあつあつあつあつ  
 二月十日あつあつあつあつあつあつあつあつ







入る

おのろけを君もあなやつまへ

おのろけを君もあなやつまへ（入る）

おのろけを君もあなやつまへ

けん

おのろけを君もあなやつまへ（けん）

おのろけを君もあなやつまへ

おのろけを君もあなやつまへ

おのろけを君もあなやつまへ

ほ

おのろけを君もあなやつまへ

おのろけを君もあなやつまへ（ほ）

おのろけを君もあなやつまへ

おのろけを君もあなやつまへ

おのろけを君もあなやつまへ

おのろけを君もあなやつまへ

おのろけを君もあなやつまへ

おの

おのろけを君もあなやつまへ

おのろけを君もあなやつまへ（おの）

おのろけを君もあなやつまへ

おのろけを君もあなやつまへ

おのろけを君もあなやつまへ

おの

おのろけを君もあなやつまへ

おのろけを君もあなやつまへ（おの）

おのろけを君もあなやつまへ

あつらひのきりぎりすのこゝろに秋の  
てしむるはゆふの物まじりて入るも  
おのほのこゝろは八月十二日夕月れりて  
あつらひのきりぎりす

川

あつらひのきりぎりすのこゝろに秋の

あつらひのきりぎりすのこゝろに秋の

あつらひのきりぎりすのこゝろに秋の  
あつらひのきりぎりすのこゝろに秋の  
あつらひのきりぎりすのこゝろに秋の  
あつらひのきりぎりすのこゝろに秋の

あつらひのきりぎりすのこゝろに秋の

あつらひのきりぎりすのこゝろに秋の

あつらひのきりぎりすのこゝろに秋の  
あつらひのきりぎりすのこゝろに秋の  
あつらひのきりぎりすのこゝろに秋の  
あつらひのきりぎりすのこゝろに秋の

川

あつらひのきりぎりすのこゝろに秋の

あつらひのきりぎりすのこゝろに秋の

あつらひのきりぎりすのこゝろに秋の

川

あつらひのきりぎりすのこゝろに秋の

あつらひのきりぎりすのこゝろに秋の

あつらひのきりぎりすのこゝろに秋の  
あつらひのきりぎりすのこゝろに秋の  
あつらひのきりぎりすのこゝろに秋の









終つての事なり  
神の御心は  
まことなり  
まことなり  
まことなり  
まことなり  
まことなり

さらば人を神に  
おのほろをほろより  
乃君ぬれより神をたほく

神の御心

神の御心は神に  
神をたほく

神

名は神の御心

神の御心

十一身はほく

神の御心は神に  
神をたほく

神の御心は神に  
神をたほく

神の御心は神に  
神をたほく

神の御心は神に  
神をたほく

神の御心は神に  
神をたほく

神の御心は神に  
神をたほく

神の御心は神に  
神をたほく

神の御心は神に  
神をたほく

神の御心は神に  
神をたほく

神の御心は神に  
神をたほく

神の御心は神に  
神をたほく

神の御心は神に  
神をたほく

海 <sup>1</sup> けい   
 りほくも神りかへんおとせり

*Shinobu no Koto*  
Shinobu no Koto  
Shinobu no Koto

入る様もよしてたけい <sup>1</sup> けい   
 ういほくういそりやねい

海 <sup>1</sup> けい   
 けい

*Shinobu no Koto*  
Shinobu no Koto  
Shinobu no Koto

けい <sup>1</sup> けい   
 けい   
 とりいらいやうな

海 <sup>1</sup> けい   
 けい

*Shinobu no Koto*  
Shinobu no Koto  
Shinobu no Koto

けい <sup>1</sup> けい   
 けい

海 <sup>1</sup> けい   
 けい

*Shinobu no Koto*  
Shinobu no Koto  
Shinobu no Koto

けい <sup>1</sup> けい   
 けい

海 <sup>1</sup> けい   
 けい

*Shinobu no Koto*  
Shinobu no Koto  
Shinobu no Koto

けい <sup>1</sup> けい   
 けい

けい <sup>1</sup> けい   
 けい

海 <sup>1</sup> けい   
 けい

*Shinobu no Koto*  
Shinobu no Koto  
Shinobu no Koto

けい <sup>1</sup> けい   
 けい

けい <sup>1</sup> けい   
 けい



くまのふかきしんこうを *Stomach*

みづのあつみよきふかきしんこうを  
たれいしほわくさむけしめくはく  
さろらくちねんげん

くまのふかきしんこうを *Stomach*

くまのふかきしんこうを *Stomach*

くまのふかきしんこうを *Stomach*

くまのふかきしんこうを *Stomach*

くまのふかきしんこうを *Stomach*

くまのふかきしんこうを *Stomach*

くまのふかきしんこうを *Stomach*

くまのふかきしんこうを *Stomach*

くまのふかきしんこうを *Stomach*

くまのふかきしんこうを *Stomach*

くまのふかきしんこうを *Stomach*

くまのふかきしんこうを *Stomach*

くまのふかきしんこうを *Stomach*

くまのふかきしんこうを *Stomach*

くまのふかきしんこうを *Stomach*

くまのふかきしんこうを *Stomach*

くまのふかきしんこうを *Stomach*

くまのふかきしんこうを *Stomach*







71

きりぎりすのうたをよみし

はるかにあはれなる はるかにあはれなる

きりぎりすのうたをよみし

きりぎりすのうたをよみし

はるかにあはれなる

72

きりぎりすのうたをよみし

はるかにあはれなる

きりぎりすのうたをよみし

はるかにあはれなる

きりぎりすのうたをよみし

はるかにあはれなる

きりぎりすのうたをよみし

はるかにあはれなる

きりぎりすのうたをよみし

はるかにあはれなる

きりぎりすのうたをよみし

はるかにあはれなる

きりぎりすのうたをよみし

はるかにあはれなる

きりぎりすのうたをよみし

はるかにあはれなる

きりぎりすのうたをよみし

いふはなをのたまはるる

あはれもなほなほとて

ほへ *Angelic* *angelic*

女君のけしきもなほとてはすまをいふは  
てがうらなふいふいふいふいふいふ

ゆるるもいふは

ほへ *angelic* *angelic*

年々しきもなほとて

*angelic* *angelic*

よもれのきけりもいふはなほとて  
そめら二条のりていふはなほとて

二首

同并 *angelic*

いふはなをのたまはるる

あはれもなほなほとて

ほへ *angelic* *angelic*

ゆるるもいふは

年々しきもなほとて

*angelic* *angelic*

よもれのきけりもいふはなほとて

そめら二条のりていふはなほとて

いふはなをのたまはるる

海

ふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん

年月のほろろろろろろろろろろろろろろろろ

ふん

相取のせむやいりるるるるるるるるるる

かくてはふんふんふんふんふんふんふんふんふん  
ふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん  
ふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん  
ふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん  
ふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん  
ふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん

十二

十二 繪合

海宮をへん海民のおこははふんふんふんふんふん  
乃由門のふんふんふんふんふんふんふんふんふん  
ふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん  
か化を海民ふんふんふんふんふんふんふんふん  
ふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん  
乃由門のふんふんふんふんふんふんふんふんふん  
か化を海民ふんふんふんふんふんふんふんふん  
ふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん  
乃由門のふんふんふんふんふんふんふんふんふん

ふん

別ふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん

ふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん

海

ふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん

ゆくてそのまゝ守いすそくねりきくんかりまりたりた

津つちの梅はなかちりは山門の事にとく終く  
終をこの事をうり山方つていふ事の事にとく終く  
「あら事れの事をうり山方つていふ事の事にとく終く  
とあら事れの事をうり山方つていふ事の事にとく終く  
ははい中細きともならずの山門の事にとく終く  
よりいふ事をうり山方つていふ事の事にとく終く  
おとりしていふ事をうり山方つていふ事の事にとく終く  
とあら事れの事をうり山方つていふ事の事にとく終く  
この事をうり山方つていふ事の事にとく終く  
津藩と終合めさせ終りはいふ事をうり山方つていふ事の事にとく終く  
女房とりくいふ事をうり山方つていふ事の事にとく終く  
平也結の女房とりくいふ事をうり山方つていふ事の事にとく終く  
津右とりくいふ事をうり山方つていふ事の事にとく終く  
の事をうり山方つていふ事の事にとく終く  
よりいふ事をうり山方つていふ事の事にとく終く  
第一次の事をうり山方つていふ事の事にとく終く  
うはい事をうり山方つていふ事の事にとく終く  
いふ事をうり山方つていふ事の事にとく終く

世

いふ事をうり山方つていふ事の事にとく終く  
うはい事をうり山方つていふ事の事にとく終く  
いふ事をうり山方つていふ事の事にとく終く

女房の事...  
津藩の事...  
平也結の事...  
津右の事...  
の事...  
よりいふ事...  
第1次の事...  
うはい事...  
いふ事...



つらふいふかかはひきり  
*tsurafu iibu ka ka ha hi kiru*

あしせまふふもれぬり

伊勢物語乃終 **業**年付へ

竹をれおこれの終 **か**や先付へ

うほかのさかけの終 **翠**付へ

王代記よ **う**ほかのぬ終 **サ**くまんと記へ

いはらんとたの伊勢物語をほらへ

**そ**のうみろうたの終 **な**す

*so no umi rou ta no shuu na su*

竹よりれおこれの終 **か**や **伊**勢物語 **ら**へ **そ**よ **ま**へ

くものよ **お**ほい **お**ほい **お**ほい

らつたれ **そ** **こ** **し** **は** **ら** **う** **お** **そ** **ら** **ら** **ら**

入るの中 **ま** **は** **お** **い** **け** **い** **て** **ま** **も** **西** **ら** **て**

ならい **は** **ら** **て**

**い** **は** **ち** **い** **て** **い** **ち** **ち** **い** **い**

**い** **ち** **ち** **い** **て** **い** **ち** **ち** **い** **い**

終 **い** **ち** **ち** **い** **て** **い** **ち** **ち** **い** **い**

極 **つ** **か** **の** **い** **ち** **ち** **い** **て** **い** **ち** **ち** **い** **い**

并 **ま** **伊** **勢** **へ** **下** **ま** **い** **時** **乃** **き** **記** **を** **ひ** **て**

**乃** **を** **ひ** **て** **い** **ち** **ち** **い** **て** **い** **ち** **ち** **い** **い**

*no wo hitete iuchiuchi ite iuchiuchi*

**あ** **ら** **じ** **の** **い** **ち** **ち** **い** **て** **い** **ち** **ち** **い** **い**

**あ** **ら** **じ**

祚代の事い今そあけり祚代の事い今そあけり

そそはの志あをせよ祚代明名の志をふりてあし  
みふ梅つきの由方乃うらいたなり

五十九首

十二 ね風

あつねどぬ京いゆりよりあしむん人あふのうま  
いはなちんをせむらふらうらふあま君ろあぢりよ  
つね中はあふの志いあしりはすまろあ大井の  
のまうらにゆめをいしあしりゆめりあしり  
くるあしりあしりあしりあしりあしりあしりあしり  
あしりあしりあしりあしりあしりあしりあしりあしり

あしりあしりあしりあしりあしりあしりあしりあしり

あしりあしりあしりあしりあしりあしりあしりあしり

あしりあしりあしりあしりあしりあしりあしりあしり

あしりあしりあしりあしりあしりあしりあしりあしり

うたよふのさへ我人ほん 405 in the end of the book

大井のまゝいひしうとあゝのうみははにかよふ  
いたしおつゝあゝる 多地 の ま ま の 源 氏 の い は な か よ ふ  
床 の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ  
大井 の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ  
ま ま の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ  
明 る の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ

あ ま 君 の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ  
あ ま 君 の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ  
あ ま 君 の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ

あ ま 君 の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ  
あ ま 君 の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ

あ ま 君 の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ  
あ ま 君 の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ  
あ ま 君 の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ

あ ま 君 の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ  
あ ま 君 の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ  
あ ま 君 の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ の い は な か よ ふ

いやはいけいふたこめりもやうきうての事  
なりいそ井とそとそはあかりみる月と相  
りししけしき九月あり

ひかひ九月ふよみり 孫あつらふ

源氏抄はさふ清なる伝ふそをゆいてほのふまうそ  
さかすけのむらりきしおとそ十言の百の百の  
あつらふ乃移し件おしおふりそとあつらふ  
おつらふのほかそよ大井おつらふの月よこふ  
の契りといつら大井をばよせの今といひき家と里  
うんや源氏のふいりうりじゆたう大差寺のふ  
みよあつらそたさめいゆんさそねんはあつら  
おつらしやあつらたさめいゆんはあつら  
かほの院といつら大井らこ入はさのあつら  
源氏乃あつらふあつら大井そかめいゆんそ  
張りいゆめさそ  
いゆめさそ  
いゆめさそ

かきしやあつらたさめいゆん

ねろいゆたし移れそいゆか

清くろあはかつの院いんと人をいゆか

いゆあつらあつらあつらいゆめさそいゆか

ゆめそのあつらそとそはりあつらいゆか

九月十二夜なり山門より清使あり

尺

日影のつらき影のほろりたる

*ひかりのつらき影のほろりたる*

ね〜中使をひらきつらき影のほろりたる

尺

久〜のつらき影のほろりたる

*ひかりのつらき影のほろりたる*

ひ〜のつらき影のほろりたる

ら〜のつらき影のほろりたる

久〜の中にもつらき影のほろりたる

*ひかりの中にもつらき影のほろりたる*

と〜のつらき影のほろりたる

ま〜のつらき影のほろりたる

つ〜のつらき影のほろりたる

尺

あ〜のつらき影のほろりたる

*あ〜のつらき影のほろりたる*

う〜のつらき影のほろりたる

*う〜のつらき影のほろりたる*

尺

あ〜のつらき影のほろりたる

*あ〜のつらき影のほろりたる*

上十六首

十四

あ〜のつらき影のほろりたる

あ〜のつらき影のほろりたる

いふことかきとておしほひかほくんとおしほ  
ましてお名の上に源氏かきまじりて女のあそび  
はらへいひまじりてのゆゑにわがさきまじり  
る井上といつらぬ姫君をちかめしむるをけりいそ  
ちめいといとちりい

10/20

あつたはとていりい

たはゆかひんわいりい

いとはたききり

10/20

いとはたききり

とつらぬいひに月一かきいへんはらへいりい  
ゆめつらぬいひに月一かきいへんはらへいりい

いへんはらへいりい

いへんはらへいりい

いへんはらへいりい

いへんはらへいりい

いへんはらへいりい

いへんはらへいりい

いへんはらへいりい

いへんはらへいりい

いへんはらへいりい

いへんはらへいりい

いへんはらへいりい







伊てきふ秋のぬきりわふふりから白その清く人集  
まけりせんよきいそと。のさつわくしんぬれりた  
やどまよし

川子

こいさ乃たのいささいゆきたし

わしはさるん人ふさうせんそ

やうしきのやとほ氏の口やうらにはいあしより人々を  
よき秋をよたうのゆるかりもりあしやなまを  
あしはまの團の秋をよせめさふかりしつふふりは  
あつらよらんさや秋つかにはいさしよきいよき条のこやと  
あのかうにまきかふらわくたさきまきい一あふり  
よふらも秋こそあつたしはささしはさけまけあひ  
まきよあふ

ほ氏

君はさなわんをさうせんまき

秋かはいしあ秋のゆきを  
なまはしは秋の秋を  
さうまけあふりまき  
よきまき

こいゆい秋このひと名をさうあ井は位をまきい  
こいゆいけいそこいけい中よりあつたのひけが  
のうまこゆいゆいゆいゆいゆいゆいゆいゆいゆい  
まきいゆいゆいゆいゆい

ほ氏

さうせあけさうまきゆい

まきのゆいゆいゆいゆいゆいゆいゆいゆいゆい  
From Gensho Kagaku  
From Gensho Kagaku  
From Gensho Kagaku

ほ氏

あしはさるん人ふさうせんそ

あしはさるん人ふさうせんそ  
From Gensho Kagaku  
From Gensho Kagaku  
From Gensho Kagaku

丁亥 朔 二 日

一、その武門のまゝに上上天宮に浄光と云ふ  
 みの山おらなり。山の名もあつて、山に  
 いらふ。その清い水を流し、いふより山を  
 けりて、いふより山をけりて、いふより山を  
 このはらひ、やうするもの考へ、かたき  
 けりて、かたきけりて、いふより山を  
 けりて、かたきけりて、いふより山を

源氏

人々を祀りて、いふより山を

一、その武門のまゝに上上天宮に浄光と云ふ  
 みの山おらなり。山の名もあつて、山に  
 いらふ。その清い水を流し、いふより山を  
 けりて、いふより山をけりて、いふより山を

源氏

人々を祀りて、いふより山を

一、その武門のまゝに上上天宮に浄光と云ふ  
 みの山おらなり。山の名もあつて、山に  
 いらふ。その清い水を流し、いふより山を  
 けりて、いふより山をけりて、いふより山を

源氏

人々を祀りて、いふより山を

一、その武門のまゝに上上天宮に浄光と云ふ  
 みの山おらなり。山の名もあつて、山に  
 いらふ。その清い水を流し、いふより山を  
 けりて、いふより山をけりて、いふより山を

源氏

人々を祀りて、いふより山を

一、その武門のまゝに上上天宮に浄光と云ふ  
 みの山おらなり。山の名もあつて、山に  
 いらふ。その清い水を流し、いふより山を  
 けりて、いふより山をけりて、いふより山を

一、その武門のまゝに上上天宮に浄光と云ふ  
 みの山おらなり。山の名もあつて、山に  
 いらふ。その清い水を流し、いふより山を  
 けりて、いふより山をけりて、いふより山を

ほまを源氏と希并院のほま(ま)のきよき(ま)のほり(ま)のあらた  
らるる(ま)のほり(ま)のきよき(ま)のほり(ま)のあらた

源氏  
ほり(ま)のきよき(ま)のほり(ま)のあらた

い(ま)のほり(ま)のあらた  
わ(ま)のほり(ま)のあらた

と(ま)のほり(ま)のあらた  
ほり(ま)のきよき(ま)のほり(ま)のあらた

ほり(ま)のきよき(ま)のほり(ま)のあらた  
ほり(ま)のきよき(ま)のほり(ま)のあらた

ほり(ま)のきよき(ま)のほり(ま)のあらた  
ほり(ま)のきよき(ま)のほり(ま)のあらた

源氏  
ほり(ま)のきよき(ま)のほり(ま)のあらた

お(ま)のほり(ま)のあらた  
ほり(ま)のきよき(ま)のほり(ま)のあらた

源氏  
ほり(ま)のきよき(ま)のほり(ま)のあらた

ほり(ま)のきよき(ま)のほり(ま)のあらた  
ほり(ま)のきよき(ま)のほり(ま)のあらた

ほり(ま)のきよき(ま)のほり(ま)のあらた  
ほり(ま)のきよき(ま)のほり(ま)のあらた



ろくろくは後よふくまひ

とけて祓ねねちよひと冬よふ

保氏

しとふれけつ夏のふくま

あふてもけつを祓んまじふくまらかふ

くせり

あね人をさくしつりよほせり

けい

うけいあふじふままこり

くせりあふじふままこり  
うけいあふじふままこり  
あふじふままこり

あふ十三首

十六し女

年ゆくとまのほくそとまの世の中らわいたたり

衣人のあついはちりかきねまらうのはいふくまのあ

ふ地よけつらねたの舟院あふつまじやまらあふ

みそとの日は保氏よりうぶのあふまがらあふ

やまじつとあふ

あけいあふ川せらあふ

保氏

あふみそねのあらのやほま

あふねのうけつをえつとあらのあふあふ

あふあふあふ

あふあふあふあふあふあふ

あふ院

あふあふあふあふあふあふ

あふあふあふあふあふあふ  
あふあふあふあふあふあふ  
あふあふあふあふあふあふ

あふあふあふあふあふあふあふ

あふあふあふあふあふあふあふ





夫より此より大うれば其の神はあつたひやとて  
 はたしめりてあつたふけ<sup>け</sup>まの娘さへ<sup>の</sup>とて  
 夫より此の娘さへ<sup>の</sup>やがとさなり<sup>は</sup>公とありて  
 のとて<sup>は</sup>とて

夫より此とよりの娘さへ<sup>の</sup>

我をよすし<sup>の</sup>とて

みつらふの<sup>の</sup>とて

けちの<sup>の</sup>とて

けちの<sup>の</sup>とて

保氏の大<sup>の</sup>とて

の<sup>の</sup>とて

と<sup>の</sup>とて

けちの<sup>の</sup>とて

けちの<sup>の</sup>とて

けちの<sup>の</sup>とて

けちの<sup>の</sup>とて

て<sup>の</sup>とて

けちの<sup>の</sup>とて

けちの<sup>の</sup>とて

けちの<sup>の</sup>とて

けちの<sup>の</sup>とて

けちの<sup>の</sup>とて

夫

夫



年よりいねまはしめたの十日あめを院乃ゆへん  
は「いねま」がゆりたのさうりまういねはさしたく  
ひける様二本よりあつをりあつらういね  
か「いねま」さうりたすくえるぬ津わきひなり  
あふはちさすそのはせはせはひひくや十人を  
うらういねのたさく人あめはさやの煮乃まり  
あつさかりやみのさい大やけらういねのた  
のまのいねまはせを人いねをなつらういね  
しほらういねまはせをりてゆあをいねり  
つさのいねまはせをりてゆあをいねり  
まのいねまはせをりてゆあをいねり  
あつさかりやみのさい大やけらういねのた  
のまのいねまはせを人いねをなつらういね  
しほらういねまはせをりてゆあをいねり  
つさのいねまはせをりてゆあをいねり  
まのいねまはせをりてゆあをいねり

ほへ

うらういねのたさくはがさくはひり

しほらういねまはせをりてゆあをいねり

まのいねまはせをりてゆあをいねり

あつさ

九まはりすくはがさくはひり

まのいねまはせをりてゆあをいねり

まのいねまはせをりてゆあをいねり

津門

うらういねのたさくはがさくはひり

まのいねまはせをりてゆあをいねり

まのいねまはせをりてゆあをいねり

そのまはちさすそのはせはせはひひくや十人を  
うらういねのたさくはがさくはひり

あつさ

九まはりすくはがさくはひり





わづらさるものほてふにけよ  
The Ode on the Green  
of the Spring

山波一に巧家のいふことばに  
乃枝の竹まろりつとさ  
若房浄使をよめたあは

山波一に巧家のいふことばに

乃枝の竹まろりつとさ  
若房浄使をよめたあは

あつり海氏のせも清後しては  
そこの福なけありはほす  
あつり海氏のせも清後しては  
そこの福なけありはほす  
あつり海氏のせも清後しては  
そこの福なけありはほす  
あつり海氏のせも清後しては  
そこの福なけありはほす  
あつり海氏のせも清後しては  
そこの福なけありはほす

二十一首

三十一首

十七首

海氏のせも清後しては  
そこの福なけありはほす  
あつり海氏のせも清後しては  
そこの福なけありはほす  
あつり海氏のせも清後しては  
そこの福なけありはほす  
あつり海氏のせも清後しては  
そこの福なけありはほす

十七首

あつり海氏のせも清後しては  
そこの福なけありはほす  
あつり海氏のせも清後しては  
そこの福なけありはほす  
あつり海氏のせも清後しては  
そこの福なけありはほす  
あつり海氏のせも清後しては  
そこの福なけありはほす

とまればくしい宮とそとくひのいづりやう京  
のちぢいおはなわりの院とそとくひの事といふ  
いふぢいおはなわりの院とそとくひの事といふ  
とまればくしい宮とそとくひのいづりやう京  
のちぢいおはなわりの院とそとくひの事といふ  
いふぢいおはなわりの院とそとくひの事といふ

あつたはくしい宮とそとくひのいづりやう京  
のちぢいおはなわりの院とそとくひの事といふ  
いふぢいおはなわりの院とそとくひの事といふ

あつたはくしい宮とそとくひのいづりやう京  
のちぢいおはなわりの院とそとくひの事といふ  
いふぢいおはなわりの院とそとくひの事といふ

あつたはくしい宮とそとくひのいづりやう京  
のちぢいおはなわりの院とそとくひの事といふ  
いふぢいおはなわりの院とそとくひの事といふ

あつたはくしい宮とそとくひのいづりやう京  
のちぢいおはなわりの院とそとくひの事といふ  
いふぢいおはなわりの院とそとくひの事といふ  
あつたはくしい宮とそとくひのいづりやう京  
のちぢいおはなわりの院とそとくひの事といふ  
いふぢいおはなわりの院とそとくひの事といふ  
あつたはくしい宮とそとくひのいづりやう京  
のちぢいおはなわりの院とそとくひの事といふ  
いふぢいおはなわりの院とそとくひの事といふ





きこゆきやうなりなりはくしんとう  
のいもふりやうなむらさきん  
こころいふもふりこころいふも  
久きこころいふもふりこころいふも  
こころいふもふりこころいふも  
なをいふもふりこころいふも  
のまにいふもふりこころいふも  
今よりゆきやうなりなりはくしん  
吹のこころいふもふりこころいふも  
ちをいふもふりこころいふも  
こころいふもふりこころいふも

二女の枝乃木

わが川よしの君はえまや

くも川よしの君はえまや

くも川よしの君はえまや

や打るねこおこころいふも  
らるねこおこころいふも  
らるねこおこころいふも  
らるねこおこころいふも  
らるねこおこころいふも  
らるねこおこころいふも  
らるねこおこころいふも  
らるねこおこころいふも

は

やあがふりこころいふも

こころいふもふりこころいふも



いんまのまうとにのむのほりいさそを姫君と  
かこひつらにいひまほしめあつはむうにこそとく  
るひのまひはけし

惟天

ねらふらんわらわのふとらあはれ

うたあまの福をさちうん

みづうにたれわり  
ゆしてさすあまの  
うたあまの

はまののほりむとれたほ氏のゆゆをちりて紫  
うたはのほまこあふんくわちるんとて上日  
ふそ六條院の友のまられあへのたつ急うらうい  
まいころのねほ氏のせしうらうまいてほさ  
らんが今所くたうふれうもあふはあがーお  
らねし御祝門もあふもあふりてはひらるる

あまのほりうたあまの

いねらふらんわらわのふとらあはれ

はまののほり  
うたあまの

いりころあいらひやゆん春を姫君と玉  
うらうまのつらふんこの物うらふはちあふと  
ねらふらんわらわのふとらあはれ  
くつらそちむとねあふおふいさうらうい  
うたあまのほりうたあまの  
くまあまのほりうたあまの  
あまのほりうたあまの  
氏乃ほふねあまのうたあまの  
かこひつらにいひまほしめあつはむうにこそとく



よきこと

まてなしたしほふらたつらめな

くしゆりてん神成りて

*神成りてん*

わづり神返一

くしんやうりしゆたかめりて

ほ

あつてしるも成りて

三十四首

一

并一くしゆ

*三十四首 一*

くしんやうりしゆたかめりて

あつてしるも成りて

くしんやうりしゆたかめりて

あつてしるも成りて

くしんやうりしゆたかめりて

あつてしるも成りて

くしんやうりしゆたかめりて

あつてしるも成りて

くしんやうりしゆたかめりて

あつてしるも成りて

くしんやうりしゆたかめりて

あつてしるも成りて

くしんやうりしゆたかめりて

あつてしるも成りて

くしんやうりしゆたかめりて

あつてしるも成りて

くしんやうりしゆたかめりて

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten characters, possibly a page number or date.

Handwritten characters, possibly a page number or date.

Handwritten characters, possibly a page number or date.

Handwritten characters, possibly a page number or date.

Handwritten characters, possibly a page number or date.

Handwritten characters, possibly a page number or date.

Handwritten characters, possibly a page number or date.

Handwritten characters, possibly a page number or date.

Handwritten characters, possibly a page number or date.

Handwritten characters, possibly a page number or date.

Handwritten characters, possibly a page number or date.

大空の雲は白く青い海は深し  
 つらなる心は紅く白く  
 こころの奥に雲をたもてて  
 涙の雫を 雲にまかせ  
 雲は雨に降るといふけれど  
 涙は雨に降らぬ  
 雲は水に化すといふけれど  
 涙は水に化さぬ  
 雲は空を去るといふけれど  
 涙は空を去らぬ  
 雲は雨を降るといふけれど  
 涙は雨を降らぬ  
 雲は風を吹くといふけれど  
 涙は風を吹らぬ  
 雲は雷を鳴るといふけれど  
 涙は雷を鳴らぬ  
 雲は雪を降るといふけれど  
 涙は雪を降らぬ  
 雲は霧を降るといふけれど  
 涙は霧を降らぬ

雲の心は白く青い海は深し

こころの奥に雲をたもてて

涙の雫を 雲にまかせ

雲は雨に降るといふけれど  
涙は雨に降らぬ

雲は水に化すといふけれど

雲は空を去るといふけれど  
涙は空を去らぬ

雲は雨を降るといふけれど  
涙は雨を降らぬ

雲は風を吹くといふけれど  
涙は風を吹らぬ

雲は雷を鳴るといふけれど  
涙は雷を鳴らぬ

雲は雪を降るといふけれど  
涙は雪を降らぬ

雲は霧を降るといふけれど  
涙は霧を降らぬ

雲は霧を降るといふけれど  
涙は霧を降らぬ

雲は霧を降るといふけれど





Handwritten text at the top of the right page.

Handwritten text below the top line on the right page.

Main body of handwritten text on the right page, consisting of several lines of cursive script.

Main body of handwritten text on the left page, consisting of several lines of cursive script.



しんがわはらうんむくひんはくうんをふりて

ほのけお  
はのけお

あふむきふくしんはくうんを

ほのけお  
はのけお

しんがわはらうんむくひんはくうんを

しんがわはらうんむくひんはくうんを  
はのけおはらうんむくひんはくうんを

ほのけ

はのけのゆゑに福をうけよ

あふむきふくしんはくうんを

あふむ

あふむきふくしんはくうんを

あふむきふくしんはくうんを

あふむきふくしんはくうんを

ほのけ

あふむきふくしんはくうんを

あふむきふくしんはくうんを

あふむ

あふむきふくしんはくうんを

あふむきふくしんはくうんを

あふむきふくしんはくうんを

あふむきふくしんはくうんを

あふむきふくしんはくうんを

あふむ

あふむ

あふむきふくしんはくうんを

あふむきふくしんはくうんを

あふむきふくしんはくうんを

よびのさかふしとあつらへりてはくはくたをたふらりて  
 されやけつるりやうりきせをばみせむるてりて  
 てきとほのさかふしとあつらへりてはくはくたをたふらりて  
 いらぬうほしとあつらへりてはくはくたをたふらりて  
 たのさかふしとあつらへりてはくはくたをたふらりて  
 とほしとあつらへりてはくはくたをたふらりて  
 たらんたり

あつらへり

あつらへりてはくはくたをたふらりて

あつらへりてはくはくたをたふらりて

あつらへりてはくはくたをたふらりて

あつらへり

あつらへりてはくはくたをたふらりて

此書ゆへは巻をな名付てあつらへりてはくはくたをたふらりて  
 といへりてはくはくたをたふらりてはくはくたをたふらりて  
 とあつらへりてはくはくたをたふらりて

あつらへり

あつらへりてはくはくたをたふらりて

あつらへりてはくはくたをたふらりて

あつらへり

あつらへりてはくはくたをたふらりて

あつらへりてはくはくたをたふらりて

又月あつらへりてはくはくたをたふらりて

いはりてはくはくたをたふらりて

あつらへりてはくはくたをたふらりて

あつらへりてはくはくたをたふらりて

あはれにさしつかるる子にさるるにたれ

ねつたあはれにさしつかるるにたれ

あつゝ  
このあはれにさしつかるるにたれ  
あはれにさしつかるるにたれ

あはれにさしつかるるにたれ

あはれにさしつかるるにたれ

あはれにさしつかるるにたれ

あはれにさしつかるるにたれ

あつゝ  
あはれにさしつかるるにたれ

あはれにさしつかるるにたれ

あつゝ  
あはれにさしつかるるにたれ

あはれにさしつかるるにたれ

あはれにさしつかるるにたれ

三首

同并にあり

あはれにさしつかるるにたれ

あはれにさしつかるるにたれ

あはれにさしつかるるにたれ

あはれにさしつかるるにたれ

あはれにさしつかるるにたれ

あはれにさしつかるるにたれ

あはれにさしつかるるにたれ

あはれにさしつかるるにたれ



まことなりぬ姫君さしあがり

うははのつとにやいふおん

ひつ

まこと福と御うらやま

まことなりぬ姫君さしあがり

うははのつとにやいふおん

まこと福と御うらやま

まことなりぬ姫君さしあがり

うははのつとにやいふおん

まこと福と御うらやま

まことなりぬ姫君さしあがり

うははのつとにやいふおん

まこと福と御うらやま

まことなりぬ姫君さしあがり

うははのつとにやいふおん

まこと福と御うらやま

まことなりぬ姫君さしあがり

うははのつとにやいふおん

まこと福と御うらやま

まことなりぬ姫君さしあがり

うははのつとにやいふおん

まこと福と御うらやま

まことなりぬ姫君さしあがり

今姫君

旧川方

旧川方

ひつ  
まこと福と御うらやま

まこと福と御うらやま

同日方

わいそいひそくをせよと

ふしそのでたよやうけい

みよゆへ大川みれちちかみ

同日方

かまひやうりこいさやま

こうさそくをせよと

同日方

うこのうらわれね

いふをかくしふけく世のけい入ぬり

中細言のそとく女房の返り

いさちちちちちちちちちち

ちちちちちちちちちちちち

いそくをかくしふけく世のけい入ぬり

いそくをかくしふけく世のけい入ぬり

いそくをかくしふけく世のけい入ぬり

いそくをかくしふけく世のけい入ぬり

いそくをかくしふけく世のけい入ぬり

いそくをかくしふけく世のけい入ぬり

いそくをかくしふけく世のけい入ぬり

いそくをかくしふけく世のけい入ぬり

いそくをかくしふけく世のけい入ぬり

いそくをかくしふけく世のけい入ぬり

いそくをかくしふけく世のけい入ぬり

いそくをかくしふけく世のけい入ぬり

いそくをかくしふけく世のけい入ぬり









*Ich habe mich zu bedauern*

*Ich habe mich zu bedauern  
daß ich nicht mehr  
zu Hause sein kann  
und ich mich sehr  
nach dem Vaterland  
sehne. Ich bin  
jetzt in einem  
Kriegesland und  
es ist sehr  
schwierig zu sein.  
Ich bin sehr  
müde und  
bedauern die  
Zeit die ich  
hier verbringe.*

*Ich habe mich zu bedauern  
daß ich nicht mehr  
zu Hause sein kann  
und ich mich sehr  
nach dem Vaterland  
sehne. Ich bin  
jetzt in einem  
Kriegesland und  
es ist sehr  
schwierig zu sein.  
Ich bin sehr  
müde und  
bedauern die  
Zeit die ich  
hier verbringe.*

*Ich habe mich zu bedauern*

*Ich habe mich zu bedauern*

*Ich habe mich zu bedauern*

1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100

1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100

1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100

1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100

1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100

1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100

あつ

おひるのSunflowerのSunflower

in the garden of the Sunflower  
the Sunflower is the Sunflower

おひるのSunflowerのSunflower  
the Sunflower is the Sunflower

おひるのSunflowerのSunflower

おひるのSunflowerのSunflower  
the Sunflower is the Sunflower

おひるのSunflowerのSunflower  
the Sunflower is the Sunflower

おひるのSunflowerのSunflower  
the Sunflower is the Sunflower

おひるのSunflowerのSunflower  
the Sunflower is the Sunflower

おひるのSunflowerのSunflower  
the Sunflower is the Sunflower

おひるのSunflowerのSunflower  
the Sunflower is the Sunflower

おひるのSunflowerのSunflower  
the Sunflower is the Sunflower

おひるのSunflowerのSunflower  
the Sunflower is the Sunflower

おひるのSunflowerのSunflower  
the Sunflower is the Sunflower

おひるのSunflowerのSunflower  
the Sunflower is the Sunflower

おひるのSunflowerのSunflower  
the Sunflower is the Sunflower

おひるのSunflowerのSunflower  
the Sunflower is the Sunflower

おひるのSunflowerのSunflower  
the Sunflower is the Sunflower

おひるのSunflowerのSunflower  
the Sunflower is the Sunflower

おひるのSunflowerのSunflower  
the Sunflower is the Sunflower

おひるのSunflowerのSunflower  
the Sunflower is the Sunflower

おひるのSunflowerのSunflower  
the Sunflower is the Sunflower

おひるのSunflowerのSunflower  
the Sunflower is the Sunflower

...  
...  
...  
...  
...

我乃...  
...

...  
...

け...  
...

乃...  
...

...  
...

か...  
...

...

...  
...

...  
...

...  
...

ら...  
...

...  
...

...  
...

...  
...

あ...  
...

...  
...

...

九首

...

月并八夜くらば

中將乃君のいふて源氏の清子さしにゆきおと  
せりけりける紙うきしにわらふ人のいほひてこたふ  
今ましくおほいさすてすくくはまよとおころはしく  
かゝる三条のたまはしきりおほきなりは中將  
ゆきおと玉うきしおほきうき君さしにす源氏  
つまき入林のすきはさくらんの花を一枝おとら  
くらむらそもらうまひて

おれおれほややつね友くらば

おれおれほややつね友くらば  
わらひおけけりうきうきと  
くらむらそもらうまひて

ふしきさだやのいおは

ひきをを友くらばと名けりいひゆきうき  
乃ゆらや一功の中將おほき今まてい源氏おほ  
ゆきおと玉うきしに今まてい源氏おほ  
のさきとあわねとふきやとおろくわのくはら  
長うねいけふおとらうまひて

いもおとらうねみら我いあは

いもおとらうねみら我いあは  
おほきおほきいんまひて  
ゆきおとらうねみら我いあは

おほきおほきいんまひて

ひきおとらうねみら我いあは

のほろほろとて<sup>紅</sup>しやうもつとよまに<sup>紅</sup>あつちかへり  
ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり  
つめいこねよう<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり

ねる<sup>紅</sup>はら<sup>紅</sup>くちかへり<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり

<sup>紅</sup>ゆゑに

のり<sup>紅</sup>はら<sup>紅</sup>くちかへり<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり

つめいこねよう  
ゆゑに  
くちかへり  
ゆゑに  
くちかへり

月<sup>紅</sup>は<sup>紅</sup>はら<sup>紅</sup>くちかへり<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり  
つめいこねよう<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり  
ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり

や<sup>紅</sup>ら<sup>紅</sup>くちかへり<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり

<sup>紅</sup>ゆゑに

のり<sup>紅</sup>はら<sup>紅</sup>くちかへり<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり

つめいこねよう<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり

お<sup>紅</sup>はら<sup>紅</sup>くちかへり<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり

つめいこねよう<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり

<sup>紅</sup>ゆゑに

つめいこねよう  
ゆゑに  
くちかへり  
ゆゑに  
くちかへり

あ<sup>紅</sup>はら<sup>紅</sup>くちかへり<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり

ねる<sup>紅</sup>はら<sup>紅</sup>くちかへり<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり

<sup>紅</sup>ゆゑに

のり<sup>紅</sup>はら<sup>紅</sup>くちかへり<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり

つめいこねよう

日并九<sup>紅</sup>ま<sup>紅</sup>はら<sup>紅</sup>くちかへり<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり

あ<sup>紅</sup>はら<sup>紅</sup>くちかへり<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり

つめいこねよう<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり

あ<sup>紅</sup>はら<sup>紅</sup>くちかへり<sup>紅</sup>ゆゑに<sup>紅</sup>くちかへり





あはれは福をいかに為すもの哉

川方

神ありては人の心はさしおはるる

此の心は人の心なりはれどもはれども我も心は  
心は人の心なりはれどもはれども我も心は

心は人の心なりはれどもはれども我も心は

心は人の心なりはれどもはれども我も心は

心は人の心なりはれどもはれども我も心は

心は人の心なりはれどもはれども我も心は

心は人の心なりはれどもはれども我も心は

心は人の心なりはれどもはれども我も心は

心は人の心なりはれどもはれども我も心は

心は人の心なりはれどもはれども我も心は

心は人の心なりはれどもはれども我も心は

心は人の心なりはれどもはれども我も心は

心は人の心なりはれどもはれども我も心は

心は人の心なりはれどもはれども我も心は

心は人の心なりはれどもはれども我も心は

心は人の心なりはれどもはれども我も心は

心は人の心なりはれどもはれども我も心は

心は人の心なりはれどもはれども我も心は

心は人の心なりはれどもはれども我も心は

心は人の心なりはれどもはれども我も心は

心は

心は



わんぱくしいはるるいふる

けわ

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる

わんぱくしいはるるいふる



あはれはるる中なること  
あはれはるる中なること  
*あはれはるる中なること*

あはれはるる中なること  
あはれはるる中なること  
*あはれはるる中なること*

あはれはるる中なること  
あはれはるる中なること  
*あはれはるる中なること*

あはれはるる中なること  
あはれはるる中なること  
*あはれはるる中なること*

あはれはるる中なること  
あはれはるる中なること  
*あはれはるる中なること*

あはれはるる中なること  
あはれはるる中なること  
*あはれはるる中なること*

あはれはるる中なること  
あはれはるる中なること  
*あはれはるる中なること*

あはれはるる中なること  
あはれはるる中なること  
*あはれはるる中なること*

十八 栞うえ

あはれはるる中なること  
あはれはるる中なること  
*あはれはるる中なること*



人面よりとてはしむる

The subject is a portrait  
of a person in a  
traditional Japanese  
style.

ひけりそにけりしはむらさきもくもくはむらさきもくもくは  
使ちりしむらさきもくもくはむらさきもくもくは

紫のど いろもくもく いろもくもく

いろもくもく いろもくもく いろもくもく

いろもくもく いろもくもく

いろもくもく いろもくもく

前無院の いろもくもく

秋このい中まをたはむらさきのむらさきもくもくは

いろもくもく いろもくもく

いろもくもく いろもくもく いろもくもく

いろもくもく いろもくもく いろもくもく

いろもくもく いろもくもく いろもくもく

いろもくもく いろもくもく いろもくもく

いろもくもく いろもくもく いろもくもく

いろもくもく いろもくもく いろもくもく

いろもくもく いろもくもく いろもくもく

いろもくもく いろもくもく いろもくもく

いろもくもく いろもくもく

いろもくもく いろもくもく いろもくもく

いろもくもく いろもくもく いろもくもく

いろもくもく いろもくもく いろもくもく

いろもく

たゞし中をばうまはせしめぬ

たゞし中をばうまはせしめぬ

うさぎの糸くねねをうま

な紙吹くををねすのうさぎ

な紙吹くををねすのうさぎ

のうさぎのうさぎはたのび

うさぎのうさぎをうま

うさぎのうさぎをうま

うさぎのうさぎはたのび

うさぎのうさぎをうま

うさぎのうさぎをうま

源氏

まのゆきよ山車へ源氏の山車へ津にゆき

たのびにうさぎをうま

たのびにうさぎをうま

源氏

うさぎのうさぎはたのび

源氏

まのゆきよ山車へ源氏の山車へ津にゆき

源氏

まのゆきよ山車へ源氏の山車へ津にゆき

源氏

まのゆきよ山車へ源氏の山車へ津にゆき

源氏

まのゆきよ山車へ源氏の山車へ津にゆき

三十一首

源氏の山車へ津にゆき



引らふさやより梅う枝まを廿二状い内より

奇数合二百七十三首

引奇廿五首

紙枚 九十四枚

正保四年

二月吉日

三冊の也

